

令和7年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」
「産学連携推進員育成講座の開発」事業

「産学連携推進リーダー育成講座」実施報告書

I. 基本情報

1. 『産学連携推進リーダー育成講座』の概要について

概 要：本事業では、専門学校が企業と協働する最適な方法と、その実現に必要なスキルを身につけた推進員を育成するための講座を開発し受講していただきました。

今回の研修は、本事業で開発した「産学連携推進員育成講座」の内容を紐解きながら、理解・体得することで、自校もしくは各地域において、「産学連携推進員」を育成する立場としての活躍を目指す内容とする。

実施日：令和7年11月26日・27日

開催場所：福岡で開催

参加対象：「産学連携推進員育成講座」受講者及びそれに準ずるもの

2. 『産学連携推進リーダー育成講座』の実施について

- ・令和7年度に作成した「産学連携推進リーダー育成講座」を使用
※実際に使用したスライドデータは以下の通り

講師の皆様へ

スライドは、研修時にスライドノート共にご活用ください。

順番を入れ替えたり、追加をしたりするなどのアレンジは、実施する研修の受講者に合わせてご実施ください。

スライドノートの言葉は、話しやすい言葉や受講者に合わせて適宜アレンジしてください。

スライドノート内の「※」の記載は、講師の注意するポイントを記載しています。

【研修教材】

- 講師用…研修進行スライド(1日目・2日目)、研修ツール①(リーダー研修設計)
- 受講者用…ワークデータ(1日目グループワーク用)、ワークシート(2日目個人用)、研修ツール②(スキルアップ研修設計)、研修ツール③(計画立案チェックリスト(理解度チェック))、スキルアップ研修進行スライド(パート別)

【講師の事前準備】

- ・スキルアップ研修の受講
- ・産学連携推進リーダー研修の受講
- ・産学連携推進リーダーの講師用スライドの確認やアレンジ(リーダー研修時作成の計画にもとづいて)
- ・スキルアップ研修の教材確認及び分割等の準備
- ・実施環境に合わせた教材準備(ワークデータ(1日目グループワーク用)、ワークシート(2日目個人用)等)
- ・1日目の理解度チェックで確認した内容や疑問点とその回答など、後半の研修がより理解が深まるように準備しておく。

文部科学省 令和7年度

専修学校教育の質保証・向上を進めるために必要な教職員研修プログラム開発事業

職業実践専門課程 産学連携推進のための

産学連携推進リーダー研修

研修の目的

産学連携のためのスキルアップ研修

職業実践専門課程において産学連携を推進する先生方が
企業と協働する意義、価値を再確認するとともに、
その実現に必要な考え方や視点を得、
カリキュラムに実装する準備の機会とする

産学連携のためのスキルアップ研修の
受講者から実施者(指導者)へステップアップ

3

事業名: R7 専修学校教育の質保証・向上を進めるために必要な教職員研修プログラム開発事業

1 集合研修:前半

4

本日の学び(13:00-17:00)

- 0 自己紹介など
- 1 産学連携のためのスキルアップ研修ふりかえり
- 2 研修理解① 研修の全体設計
- 2 研修理解② 各ワークのねらいと実施のポイント
- 3 研修のゴールの設定

産学連携を進めるために
みなさんは **どんな役割** を担いますか？

そのために **必要なこと** はなんですか？

S1 スキルアップ研修ふりかえり

産学連携のためのスキルアップ研修

1日目

- 0 自己紹介と事前学習のふりかえり
- 1 【導入】ディプロマポリシーから読み解く人材像の共有
- 2 【演習】シナリオ分析ワーク①
カリキュラムデザインの視点
- 3 【演習】シナリオ分析ワーク②
カリキュラムアップデートの視点
- 4 【講義】産業界ニーズを知る

2日目

- 0 1日目のふりかえり
- 1 【演習】これからの「企業との連携」はどうあるべきか？
- 2 【演習】自学科のカリキュラムマネジメント：
評価規準(企業連携)
- 3 【演習】自学科のカリキュラムマネジメント：
評価規準共有 & 相互FB
- 4 【演習】全体共有・学びのふりかえり

スキルアップ研修ふりかえり

実際に受講してみて、どうでしたか？

感想、疑問、良かった点、改善点…
グループで話してみましよう。

9

スキルアップ研修ふりかえり



ワーク ふりかえり

1 ワークシートにアクセス 付箋(個人)5分

2 グループ共有・討議 15分

内容によってカテゴリに分けて
付箋を整理してみましよう。

あああああ

3 各グループ2分以内で全体共有

10

スキルアップ研修ふりかえり

講師の方へ

※全体共有時の講師ポイント※

ワークデータ(1日目グループワーク用)の画面を見ながら
発表を聞き、内容を整理して統一分類になるよう
コメントしてください。
分類(例)は次のスライドを参照してください。

11

スキルアップ研修ふりかえり

講師の方へ

分類例

- 講師のふるまい → 講師として必要な知識、
資質能力
- 講座全体に対する理解 → 講座内容理解
- ワークに対する理解 → ワーク内容理解
- 評価に対する理解 → 評価理解

12

S2

研修理解① 研修の全体設計

13

研修の全体構造

研修全体の設計を見て、気づいたことは何ですか？

事前学習

受講前のインプット
・産学連携の位置づけ
・キャリア教育のポイント

受講前の現状把握
・自校の産学連携の
現状理解

研修前半

**現状の共有
本来あるべき姿**
(ディプロマポリシー)
との関連

事例分析
(2つの視点)

**産業界のニーズ
未来の姿**

研修後半

**今後目指す姿
カリキュラム
マネジメント**
「目指す姿」に迫れてい
るか測定するための評
価規準

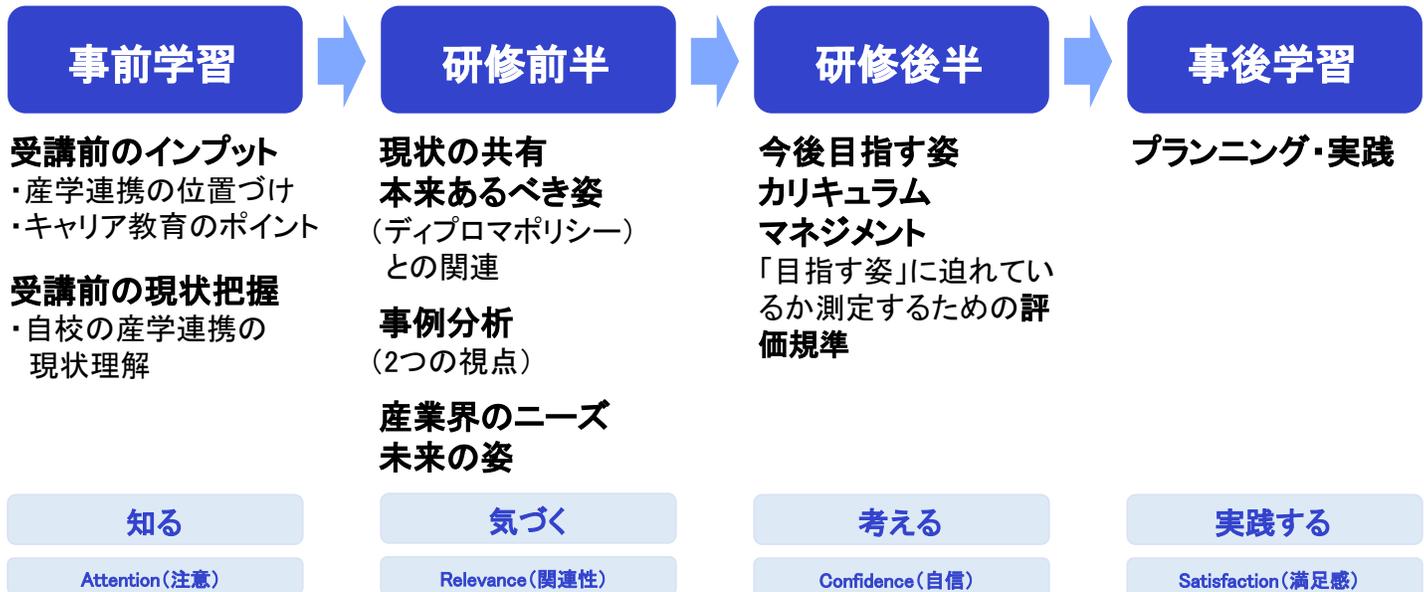
事後学習

プランニング・実践

14

研修の全体構造

研修全体の設計を見て、気づいたことは何ですか？



15

研修の全体設計



ワーク

研修の全体設計

1 グループ共有・討議 15分

全体を見て、**気づいたことやその理由**を共有しながら、**それぞれのパートの「ねらい」**を話し合ってみましょう。

2 発表・共有

16

講師として大切なこと

講座全体を俯瞰で捉え、全体の流れを理解したうえで
最大限効果が出るよう実施する

講座の意図(伝えるべきこと)を理解し、伝えられるよ
うにする

研修の目的

職業実践専門課程において産学連携を推進する先生方が
企業と協働する意義、価値を再確認するとともに、
その実現に必要な考え方や視点を、
カリキュラムに実装する準備の機会とする

これからの社会で活躍できる人材育成のために
産学連携を“キャリア教育”の視点でアップデート!

研修の全体構造

研修全体の設計を見て、気づいたことは何ですか？



事前学習: 受講前のインプット
・産学連携の位置づけ
・キャリア教育のポイント
・自校の産学連携の現状把握

研修前半: 現状の共有
本業あるべき姿
(ディプロマポリシー)との関係
事例分析
(2つの視点)
産業界のニーズ
未来の姿

研修後半: 今後目指す姿
カリキュラム
マネジメント
「目指す姿」に照らして
いるか満足するための
評価規準

事後学習: プランニング・実践

産学連携のためのスキルアップ研修

1日目

0	自己紹介と事前学習のふりかえり
1	【導入】ディプロマポリシーから読み解く人材像の共有
2	【演習】シナリオ分析ワーク① カリキュラムデザインの視点
3	【演習】シナリオ分析ワーク② カリキュラムアップデートの視点
4	【講義】産業界ニーズを知る

2日目

0	1日目のふりかえり
1	【演習】これからの「企業との連携」 はどうあるべきか？
2	【演習】自学科のカリキュラムマネジメント: 評価規準(企業連携)
3	【演習】自学科のカリキュラムマネジメント: 評価規準共有&相互FB
4	【演習】全体共有・学びのふりかえり

講師として大切なこと

全体のねらい、流れを理解したうえで、各ワークのね
らいやポイントを理解し、ワーク、研修全体ねらいが達
成されるよう実施する

産学連携のためのスキルアップ研修

1日目

0	自己紹介と事前学習のふりかえり
1	【導入】ディプロマポリシーから読み解く人材像の共有
2	【演習】シナリオ分析ワーク① カリキュラムデザインの視点
3	【演習】シナリオ分析ワーク② カリキュラムアップデートの視点
4	【講義】産業界ニーズを知る

2日目

0	1日目のふりかえり
1	【演習】これからの「企業との連携」 はどうあるべきか？
2	【演習】自学科のカリキュラムマネジメント: 評価規準(企業連携)
3	【演習】自学科のカリキュラムマネジメント: 評価規準共有&相互FB
4	【演習】全体共有・学びのふりかえり

S2

研修理解② 各ワークのねらいと 実施のポイント

各ワークについて理解する

各ワークの内容や進め方は
どのような「ねらい」が
あるのでしょうか？

ワークのねらいとポイント



ワーク

ワークのねらいとポイント

1 ワークシートと教材にアクセス

2 グループ共有・討議 15分

どのようなねらい(効果や学び)を想定していたか、そのねらいを引き出すために必要になる「講師としてのポイント」を話しましょう。

3 各グループ2分以内で全体共有

21

各ワークのねらいと実施のポイント

シナリオ分析ワーク…Aグループ

企業連携アップデート…Bグループ

効果測定のための評価規準…Cグループ

産学連携のためのスキルアップ研修

1日目

0	自己紹介と事前学習のふりかえり
1	【導入】ディプロマポリシーから読み解く人材像の共有
2	【演習】シナリオ分析ワーク① カリキュラムデザインの視点
3	【演習】シナリオ分析ワーク② カリキュラムアップデートの視点
4	【講義】産業界ニーズを知る

2日目

0	1日目のふりかえり
1	【演習】これからの「企業との連携」 はどうあるべきか？
2	【演習】自学科のカリキュラムマネジメント： 評価規準（企業連携）
3	【演習】自学科のカリキュラムマネジメント： 評価規準共有&相互FB
4	【演習】全体共有・学びのふりかえり

22

各ワークのねらいと実施のポイント

ワーク	ねらい	実施上のポイント/注意点
シナリオ分析ワーク		
企業連携アップデート		
効果測定のための評価規準		

講師確認用資料

各ワークのねらい

赤枠のワークについて考えていただく。
別資料(エクセル)の記載も合わせて確認してください。

シナリオ分析ワーク

わたしたちの・・・

①キャリア教育視点の意識付け・定着
「意志」確認をして、受講目的を明確にし、受講意識を高める

自学科のディプロマポリシーを読み解く

ワーク
②現状共有により、感情や課題への共感、仲間意識の向上、取組への意欲向上

1. 現状共有
2. 感情や課題への共感、仲間意識の向上
3. 全体共有 (1グループ2分)

③ディプロマポリシーへの意識付け
「好事例」により事例提供と自校の現状とのギャップや共通点の確認、課題への意識付け

視点
シナリオ (前半) を読み、カリキュラムのポイントを分析しましょう。

④「好事例」による事例提供と自校の現状とのギャップや共通点の確認、課題への意識付け、取組への意欲向上

シナリオ (後半) を読み、どのようにカリキュラムをアップデートできそうか、どんなことができそうか・やってみよう、考えてみましょう。

↑例にする

企業連携アップデート

⑤「未来志向」で現状の枠を超えて「やってみよう」を考えると、取組への意欲向上と連携アップデートへの意識付け

未来
今後「企業との連携」は、どんなことにフォーカスをすべきでしょうか？
今後どんな可能性があるでしょうか？

効果測定のための評価規準

⑥学生の確かな成長につながるために不可欠であることを意識し、「指導と評価の一体化」の意識付け

評価規準を自身で掘り下げることで、「取組」への理解を深め、焦点化する
ために、プログラムの評価規準を検討しましょう。

相互フィードバック

お互いの評価規準を交換し、

- 1 ディプロマポリシーから、どのように人材像を
- 2 「評価規準」を踏まえ、⑦他者への説明、他者へのフィードバックによる気づきを得ることで、自身の考えをブラッシュアップさせる。

課題に対する対応策

⑧課題を考え持ち帰ることで、研修を受けて終わりにせず、実践に確実につなげる。

わたしたちの…

講師の方へ
この資料は「例示用」です。
必要に応じて活用してください。

例

意志【WILL】

能力【CAN】

具体的にいかせる知識、
つかえる技能、技術

役割【MUST】

果たすべき役割、
専門性にともなう責任、責務

25

相互フィードバック

講師の方へ
この資料は「例示用」です。
必要に応じて活用してください。

例

お互いの評価規準を交換し、

- 1 ディプロマポリシーから、どのように人材像、
重点育成資質能力の定義をしたのか
- 2 評価の観点」「評価計画」「評価手法」

について、意見交換、建設的フィードバックを
してみましょう

26

課題に対する対応策

講師の方へ
この資料は「例示用」です。
必要に応じて活用してください。

例

ロボポリシーで育
成をめざしている人材
像

職業実践専門課程
で重点的に育成を
めざしている資質
能力

項目	現在の実施内容	現在の課題感	集合研修 題に対する対応案
企業との連携			
学校内体制			
学びの系統性			
資質能力の評価			

ワークのねらいとポイント

講師の方へ

※全体共有時の講師ポイント※

ワークデータ(1日目グループワーク用)の画面を見ながら
発表を聞き、実際に実施した講師の立場としてどうだったか、
過不足があればフィードバックを行ってください。
否定ではなく、肯定を主として伝えると、
受講者のモチベーション維持につながります。

講師として大切なこと

各ワークの **ねらい** (効果や学び) を **理解** (想定) し、それが達成できるようにするために **何が必要か考えて実施** する。

→ワークの解説書を確認してみましょう

まとめ

Where am I going?
(どこへ行くのか?)

How do I know when I get there?
(辿り着いたかどうかどうやって知るのか?)

How do I get there?
(どうやってそこへ行くのか?)

S3

研修のゴールの設定

受講者に望む姿と講師のあるべき姿

スキルアップ研修を受講して、**講師は受講者にどのようになってほしい**のでしょうか？

また、そのような姿になってもらうために**講師はどうあるべき**で、それは**どのような資質能力**でしょうか？

セットで考えてみましょう。

受講者に望む姿と講師のあるべき姿



ワーク

受講者と講師の資質能力

1 ワークシートにアクセス 付箋(個人)10分

2 グループ共有・討議 20分

「受講者にこうなってほしい、そのために講師にはこれが必要」という視点で自身の考えをグループで共有し、「講師に求められる資質能力」を話し合ってみましょう。

3 各グループ2分以内で全体共有

受講者に望む姿と講師に必要なこと

例

受講者にのぞむ姿 Audience (A)	受講者に求める行動 Behavior(B)	どのように行動を引き出すか Condition (C)	講師に求められる資質能力
視野を広くもてるようになってほしい	他者が新たな視点をもてるように、自身のもつ視点を伝える。他者の意見を受け入れ、考える姿勢をもって発言する。	受講者の視野が狭くなっていると感じたときには声をかけ、視点を広げた声掛けをする。「こうでなければならない」という声 かけをせず、自由に意見が言えるような雰囲気にする。	<ul style="list-style-type: none"> ●●する力／○○力 洞察力 本質を見極める力 肯定 他者の意見をねらいに合わせて学びにする力
産学連携に対して積極的に楽しんで取り組んでほしい	産学連携を行うことで、学生や学びがどのように進化するか、進化の過程を想像する。「やりたいこと」が何かを考え、実現のための手立てを考えるようにする。	積極的に楽しんで取り組んでいる受講者の一人の意見を全体で発表させるようにする。楽しんでいる人たちの声を代弁できるように調査しておく。	<ul style="list-style-type: none"> 楽しむ力 情報収集力
未来志向で考えることができるようになってほしい	「こうなったらいいな」を基本に考えるようにする。	「未来」を具体的にイメージできるように伝える。講師自身が具体的な「未来」のイメージをもち、言葉やスライドで伝えることができるようにしておく。	<ul style="list-style-type: none"> 情報整理・活用力 表現力 受講者に合わせて伝える力
たくさんの事例を知って、自分の活動に生かしてほしい	学科が違っても、参考になる点はないか、自分の業務に生かせることはないかを常に考えながら多様な事例を聞く。	多様な事例を紹介できるように講師が下調べを行ったり、可能な限り実施者にヒアリングしたりする。	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集・整理・活用力 学びにする力

受講者に望む姿と講師に必要なこと

受講者にとって必要なこと・身につけたいこと

- ・産学連携経験・意欲・幅広い視野・未来志向
- ・つなぐ力・応用力・実現へのステップの想定力

講師にとって必要なこと

- ・受講者の意識を導く
- ・受講者の話をつなぎ、ねらいに落としこむ力
- ・産学連携事例やアイデア力、つなぐ力 など

35

講師に必要なことと自身の目標

講師としてあるべき姿と自身を照らし合わせて、**自分自身の強みと弱み**を考えてみましょう。

また、自分自身が講師としてどこに注力をして実施するのがよいか、**自身のねらい**を定めてみましょう。

36

自身にのぞむこと/必要なこと



ワーク

自分自身に必要なこと

- 1 ワークシートにアクセス 付箋(個人)5分

明日の朝、今日のふりかえりとして
研修冒頭にシェアしましょう。

37

まとめ



リーダー研修の理解度チェック

38

お疲れ様でした！



講師の皆様へ

スライドは、研修時にスライドノート共にご活用ください。

順番を入れ替えたり、追加をしたりするなどのアレンジは、実施する研修の受講者に合わせてご実施ください。

スライドノートの言葉は、話しやすい言葉や受講者に合わせて適宜アレンジしてください。

スライドノート内の「※」の記載は、講師の注意するポイントを記載しています。

【研修教材】

- 講師用…研修進行スライド(1日目・2日目)、研修ツール①(リーダー研修設計)
- 受講者用…ワークデータ(1日目グループワーク用)、ワークシート(2日目個人用)、研修ツール②(スキルアップ研修設計)、研修ツール③(計画立案チェックリスト(理解度チェック))、スキルアップ研修進行スライド(パート別)

【講師の事前準備】

- ・スキルアップ研修の受講
- ・産学連携推進リーダー研修の受講
- ・産学連携推進リーダーの講師用スライドの確認やアレンジ(リーダー研修時作成の計画にもとづいて)
- ・スキルアップ研修の教材確認及び分割等の準備
- ・実施環境に合わせた教材準備(ワークデータ(1日目グループワーク用)、ワークシート(2日目個人用)等)
- ・1日目の理解度チェックで確認した内容や疑問点とその回答など、後半の研修がより理解が深まるように準備しておく。

文部科学省 令和7年度

専修学校教育の質保証・向上を進めるために必要な教職員研修プログラム開発事業

職業実践専門課程 産学連携推進のための

産学連携推進リーダー研修

2 集合研修：後半

本日のながれ (9:00-13:00)

- 0 前半(前日)のふりかえり
 - 計画立案① 研修の評価規準
 - 計画立案② 研修実施計画
- 1 全体共有
最終ブラッシュアップ
全体共有
- 2 まとめ
受講の感想、研修実施に向けての今後の準備

産学連携を進めるために
みなさんは **どんな役割** を担いますか？

そのために **必要なこと** はなんですか？

S4 計画立案 評価について

研修実施のサイクル

いつどこで誰に
どのような研修
をするか

PLAN

DO

実際に研修を
実施する

- ・受講者の経験
- ・講師の視点

次に向けて
改善点洗い出し
修正

ACTION

CHECK

成果を評価する

- ・受講者の評価
- ・講師の評価

研修実施のサイクル

いつどこで誰に
どのような研修
をするか

PLAN

DO

実際に研修を
実施する

- ・受講者の経験
- ・講師の視点

次に向けて
改善点洗い出し
修正

ACTION

CHECK

成果を評価する

- ・受講者の評価
- ・講師の評価

CHECK<評価>

GOAL

研修の目標は？
研修を通じ、受講者にはどうなってほしいか？

CHECK

どうすれば研修がうまくいった、と言える？
めざす受講者の姿に対し、何ができて、何ができていない？

PLAN

めざす姿に対し、
いつ、なにを、どのように行う？

評価規準がなければ、目標が達成できたかわからない

受講者の目標達成

||

講師としての目標達成

CHECK<評価>

計画立案 評価指標開発／実施計画

Date: 00/00 校名・学科名: ■■■■
氏名: ■■■■

【「産学連携推進員のためのスキルアップ研修」講座の目的】産学連携をキャリア教育の視点でアップデートし、未来志向で講座デザイン・実践できるようにする。

GOAL 【受講者】どんな姿をめざしてほしいか、どんな役割を担ってほしいか。 【講師】講師として受講者の目標達成（GOAL）をどのように支援したいか。

CHECK 【受講者】評価規準（何をもち、受講者の目標が達成されたと言えるか） 【講師】評価規準（何をもち、講座が成功したと言えるか）

PLAN 具体的に、「誰に対し」「いつ」「どこで」「どのように」研修を行うかを検討し、そのために必要な準備もメモしておきましょう。

学校向けにアレンジしなければ（要案の追加、変更等）ならないこと

DO **ACTION** 次回に向けての課題と改善策

リーダー研修にて考えること

リーダー研修後

評価規準の作成

個人

- 1 あらためてGOALを言語化
- 2 目標達成したかどうか、を測るため、元となる「評価規準」を記入
- 3 評価を「いつ」「どのように」行うか検討、記入

GOALの記入例(講師=自分)

講師の方へ
受講者の状況に合わせて記入例スライドとして使用してください。

【講師】講師として受講者の目標達成(GOAL)をどのように支援したいか。

- ・自分のイメージする<講師の姿>を意識し、ファシリテート力を身につける
- ・自分のこれまでの経験を事例にしながら、受講者が疑問や不安に感じることに
ついて具体的な解決方法を提示し、共に課題解決に臨む姿勢を見せたい

13

評価規準の作成例

講師の方へ
受講者の状況に合わせて記入例スライドとして使用してください。

【受講者】評価規準(何をもちて目標が達成されたと言えるか、どう測るか)

- ・マインドの変化
(産学連携について、前向きに取り組む意思が感じられるかどうか)
- ・いつ:事後
- ・どのように:アンケートとヒアリング

14

評価規準の共有

共有

- 1 グループ内で共有
- 2 GOALに対し、CHECKできる規準になっているかお互いにアドバイス
- 3 全体共有(グループ代表1名)

休憩

S4 計画立案 研修実施計画

何のために研修をするか(目標)
どのように成果を見取るか(評価)

▼
「具体的な実施計画」へ

PLAN<計画>

GOAL

研修の目標は？
研修を通じ、受講者にはどうなってほしいか？

CHECK

どうすれば研修がうまくいった、と言える？
めざす受講者の姿に対し、何ができて、何ができていない？

PLAN

めざす姿に対し、
いつ、なにを、どのように行う？

GOALに向け、CHECKを意識し、実際に計画する

19

PLAN<計画>

PLAN

研修を自校・自学科で行うために、
想定すべきこと、準備すべきことは
なんですか？

具体的に検討し、
ワークシートに入力しましょう。

20

PLAN<計画>

計画立案 評価指標開発／実施計画

Date: 00/00 校名・学科名: ■■■■
氏名: ■■■■

【産学連携推進員のためのスキルアップ研修】講座の目的】産学連携をキャリア教育の視点でアップデートし、未来志向で講座デザイン・実践できるようにする。

GOAL 【受講者】 どのような姿をめざしてほしいか、どんな役割を担ってほしいか。
【講師】 講師として受講者の目標達成（GOAL）をどのように支援したいか。

CHECK 【受講者】 評価規準（何をもち、受講者の目標が達成されたと言えるか）
【講師】 評価規準（何をもち、講座が成功したと言えるか）

PLAN 具体的に、「誰に対し」「いつ」「どこで」「どのように」研修を行うかを検討し、そのために必要な準備もメモしておきましょう。

学校向けにアレンジしなければ（要案の追加、変更等）ならないこと

DO ACTION 次回に向けての課題と改善策

リーダー研修にて考える

リーダー研修後

PLAN<計画>

計画立案 評価指標開発／実施計画

Date: 00/00 校名・学科名: ■■■■
氏名: ■■■■

【産学連携推進員のためのスキルアップ研修】講座の目的】産学連携をキャリア教育の視点でアップデートし、未来志向で講座デザイン・実践できるようにする。

GOAL 【受講者】 どのような姿をめざしてほしいか、どんな役割を担ってほしいか。
【講師】 講師として受講者の目標達成（GOAL）をどのように支援したいか。

CHECK 【受講者】 評価規準（何をもち、受講者の目標が達成されたと言えるか）
【講師】 評価規準（何をもち、講座が成功したと言えるか）

PLAN 具体的に、「誰に対し」「いつ」「どこで」「どのように」研修を行うかを検討し、そのために必要な準備もメモしておきましょう。

学校向けにアレンジしなければ（要案の追加、変更等）ならないこと

DO ACTION 次回に向けての課題と改善策

リーダー研修にて考えること

リーダー研修後

PLAN<計画>

計画立案 評価指標開発/実施計画

Date: 00/00 校名・学科名: ■■■■
氏名: ■■■■

【「産学連携推進員のためのスキルアップ研修」講座の目的】産学連携をキャリア教育の視点でアップデートし、未来志向で講座デザイン・実践できるようにする。

GOAL 【受講者】どんな姿をめざしてほしいか、どんな役割を担ってほしいか。
【講師】講師として受講者の目標達成（GOAL）をどのように支援したいか。

CHECK 【受講者】評価規準（何をもち、受講者の目標が達成されたと言えるか）
【講師】評価規準（何をもち、講座が成功したと言えるか）

PLAN 具体的に、「誰に対し」「いつ」「どこで」「どのように」研修を行うかを検討し、そのために必要な準備もメモしておきましょう。

学校向けにアレンジしなければ
要案の追加、変更等）
ならないこと

DO **ACTION** 次回に向けての課題と改善案

リーダー研修にて考えること

リーダー研修後

23

研修実施計画 中間発表

共有

ここまで検討したことを共有します。
実施計画については、以下を検討しましょう。

- ①お互い参考にできることはあるか？
- ②「計画」はより具体的にできるか？
- ③「必要な準備」はより具体的にできるか？

24

改善

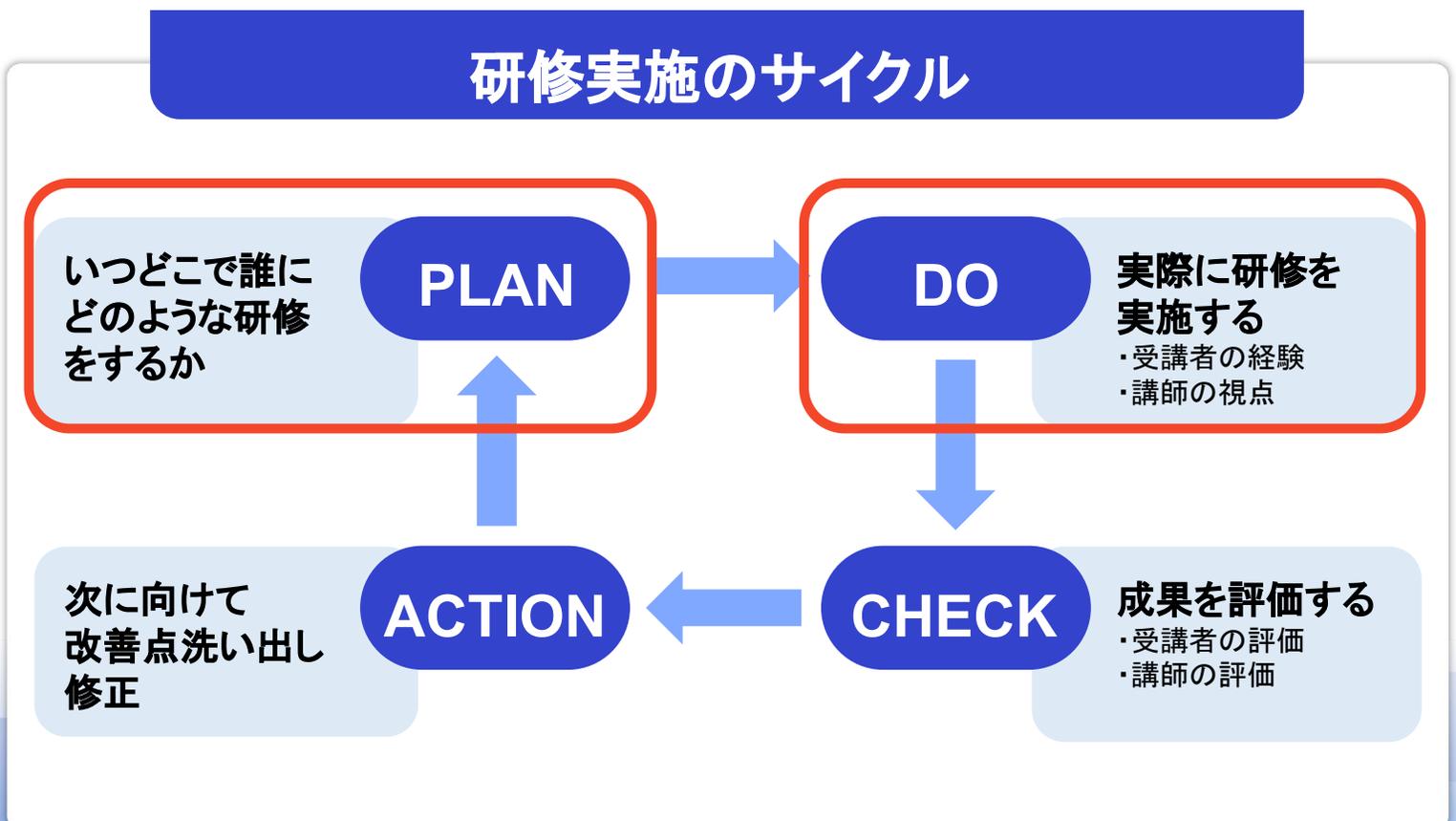
共有から得られた気づきをヒントに、
自校・自学科の実態に合わせ、検討しましょう。

- ①計画をより具体化する
- ②計画を踏まえて、自校・自学科ならではの「要素の追加」または「アレンジ」をする

休憩

まとめ

研修実施のサイクル



リーダーとしての次の動き

DO

研修を実施するまでの、次の動きを決め、**確実に実行**しましょう！

CHECK

リーダー研修の理解度チェックにチャレンジしてみましょう！

PLAN<計画>

計画立案 評価指標開発/実施計画

Date: 00/00 校名・学科名: ■■■■
氏名: ■■■■

【「産学連携推進員のためのスキルアップ研修」講座の目的】産学連携をキャリア教育の視点でアップデートし、未来志向で講座デザイン・実践できるようにする。

リーダー研修にて考えること	GOAL 【受講者】 どのような姿をめざしてほしいか、どんな役割を担ってほしいか。 <input type="text"/>	↔	【講師】 講師として受講者の目標達成（GOAL）をどのように支援したいか。 <input type="text"/>
	CHECK 【受講者】 評価規準（何をもち、受講者の目標が達成されたと言えるか） <input type="text"/>	↔	【講師】 評価規準（何をもち、講座が成功したと言えるか） <input type="text"/>
	PLAN 具体的に、「誰に対し」「いつ」「どこで」「どのように」研修を行うかを検討し、そのために必要な準備もメモしておきましょう。 <input type="text"/>	↓	<input type="text"/>

学校向けにアレンジしなければ（要案の追加、変更等）ならないこと

DO <input type="text"/>	←	ACTION 次回に向けての課題と改善策 <input type="text"/>
--------------------------------	---	---



全体共有

全員で今後の動きを共有しましょう

産学連携を進めるために
みなさんは **どんな役割** を担いますか？

そのために **必要なこと** はなんですか？

お疲れ様でした！

II. 『産学連携推進リーダー育成講座』実施結果について

目 標：本委員会で開発した『産学連携推進員育成講座』を使用して、企業と協働する最適な方法とその実現に必要なスキルをアップデートし、各校・各地域において「産学連携推進員」を育成する立場としての活躍を目指す。

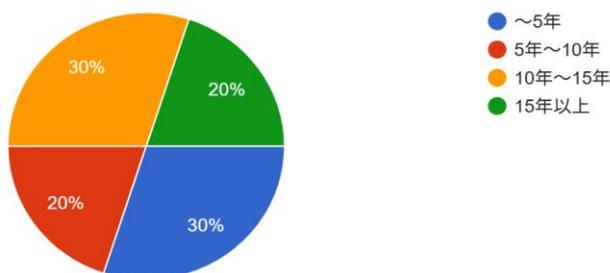
日 程：令和7年11月26日（水）・27日（木） ※福岡にて対面実施

受講者：10名

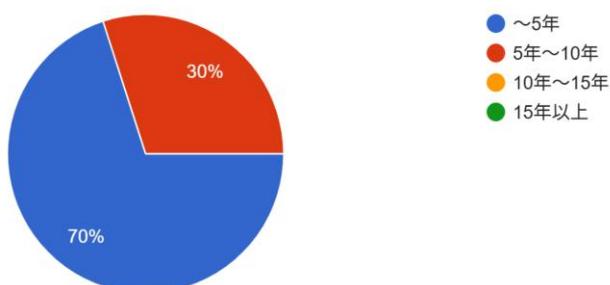
対象者：「産学連携推進員育成講座」受講者及びそれに準ずるもの

※終了後の参加者からのアンケート結果は以下の通りとなった。

専修学校における教職員経験年数
10件の回答

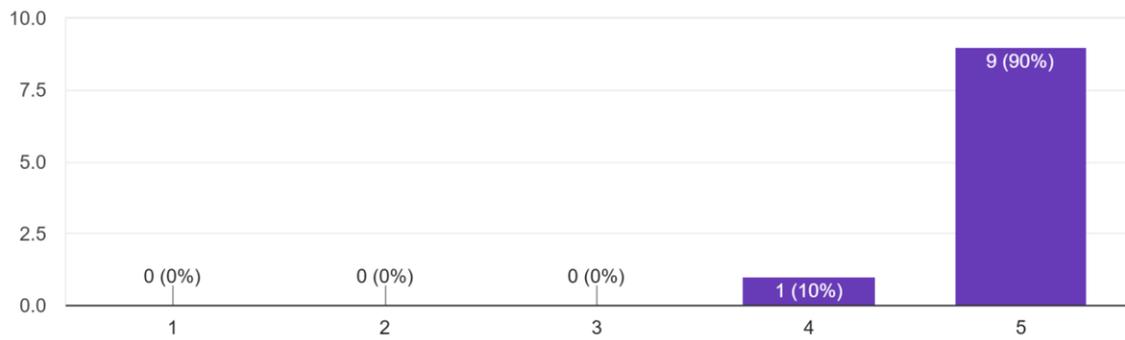


これまで産学連携に関わった年数
10件の回答



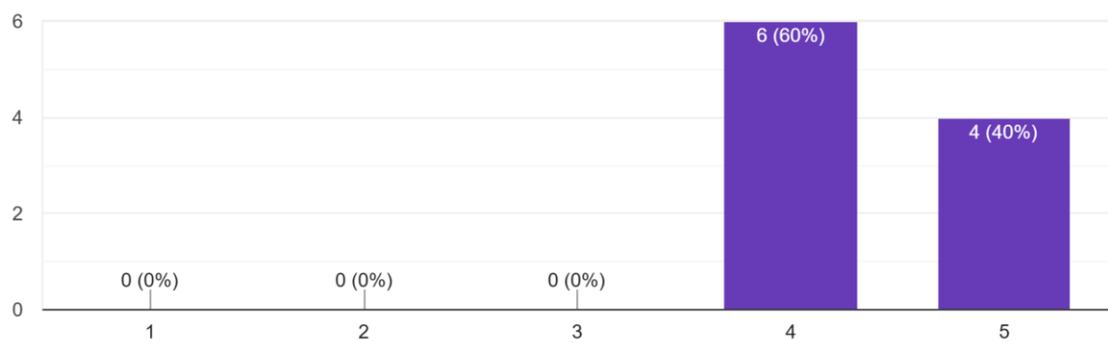
研修の満足度はどうでしたか

10件の回答



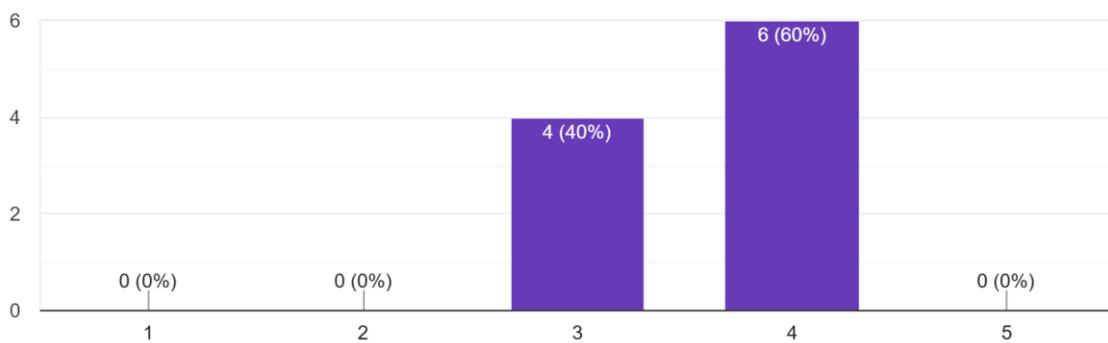
研修の内容は理解できましたか

10件の回答



研修に参加して、自身が講師として研修を実施する準備はできたと思いますか

10件の回答



○上記の設問に（講師として研修を実施する準備について）回答した理由について

- ・講師として研修をするつもりで受講してましたが、1つ1つの問いに、ループしてしまいました。しっかり自分自身での振り返りを行いたいと思います。
- ・それまでのワークを通していつ、誰に、どのように実施するかを考え、共有する機会があったので思ったよりもスムーズに準備案が出てきた。
- ・対象者と目的が設定できたため
- ・研修を通じて産学連携の必要性は理解できたうえで、個人の知識ではなく学校として取り組んでいかなければならない事柄だと思うため。
- ・準備の評価は実施してみないとわからないため
- ・ファシリテートする経験不足等、講師に必要な力を身につける時間が必要に思います。
- ・学内で産学連携をしており、共感してくれる教員がいるため
- ・イメージはできたが、まだまだ机上の空論で具体性にかけるのでさらにブラッシュアップしてより良いものを目指していきたい。
- ・自分の産学連携への取り組み歴がまだ少ないため、成功・体験談の蓄積が足りていないと感じた。また、全職員に研修を行うにあたり、職員の意識づくりをするためには、副校長や部長などの意識改革も必要だと感じた。
- ・スライドやトーク等の調整は必要だが、意義と方針は十分理解できていると思ったから

○研修実施までに、不安なこと、支援してほしいことはありますか（任意）

- ・まだ不安なことまで出ませんが。実施した方からの共有。
- ・不安なことがあればコミュニティ、キャリアリンクさんにお声がけさせていただきたいと思います！
- ・自分の言葉に変える場合に変換し難いことがあれば、助言いただけると有難いです
- ・研修の内容を自分の中に落とし込めるかどうか
- ・不安なことや迷うことがあれば、研修と一緒に参加された皆さんと情報共有させていただきたいと思います
- ・受講生が迷ったときのアドバイスが的確にできるかどうか不安です。
- ・現状ありません。自分ができることから進めていきたいと思っています。段階に応じて相談いたします。
- ・現状はありません

○研修実施予定が決まっている方は、いつどこで誰を対象にしているか教えてください
(任意)

- ・まだ未定ですが年度内にできればと思います。
- ・次年度のカリキュラム検討時に組み込みたい
- ・未定（来年2月が有力）／学内教員
- ・特にまだ決まっていないので、上長と進めていきたいです。
- ・まだ具体的には決まっておりません

III. まとめ

令和6年度に開発した「産学連携推進員育成講座」を使用し、令和7年11月に実施した研修結果から得た内容を盛り込むことで、「産学連携推進リーダー育成講座」の開発が完了した。

本研修に参加された教職員の先生方においては、今回の研修で得た知識や経験を自校等に持ち帰り、これまで以上に産学連携への取り組みを充実させて行ってもらいたい。

また、本研修に参加された方以外にも、産学連携について様々な課題や悩みを抱えている地域や学校も多くあると推測されます。

「職業実践専門課程」とは、「専門学校のうち、企業等と密接に連携して、最新の実務の知識・技術・技能を育成する実践的かつ専門的な職業教育に取り組む学科を文部科学大臣が認定する制度」であるため、産学連携は非常に重要なキーであると考えられます。

このことから、時代に合った形に定期的にアップデートすることが必要となるでしょう。その際に今回開発した教材を有効に活用していただければ幸いです。

以上